

入学おめでとう



商学部長
河合 久
Hisashi KAWAI

ようこそ、新・中大生!

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。商学部教職員は、「商学」という学問を共に探究できる多くの仲間を、ここ多摩キャンパスにお迎えすることができたことを喜ばしく、また誇らしく思います。

「商学」という学問領域の直接的な対象は企業活動に代表されるビジネス(組織の営み)にほかなりません。企業はそれ自体で単独に存在しているのではなく、経済社会全体を構成する要素として経済社会や環境に影響を与え、またそこから影響を受けるという相互関係の中で成立しています。しかも、ビジネスは私たちの生活を内包し、人々の日常的活動の外延上に存在していることとなります。それゆえ商学領域を学ぶには企業単体の行動に目を向けるだけでは不十分であり、周辺の経済学領域や外国語、人文・社会学などに視野を広めることが、国際競争力の向上を目指す日本企業、ひいては世界の企業動向を学ぶ皆さんに求められています。

大学では、学年が進むにつれて多くの学生はより専門的な分野に研究対象を絞るのが一般的です。これまでの勉強と決定的に異なるのは、学問対象となる事象や実態を科学的に分析する力を身につけることが重要となる、ということでしょう。そのような視点から自ら進んで講義やゼミに参加してください。

人の存在は企業の存在と似ています。人は社会との関係で存在しています。人はおよそ単独で生きられないでしょうし、他人から影響を受け他人に影響を与えます。大学ではこれまで以上に主体性と協調性が求められます。今しか得られない友人を作り、友人から異なる価値観を学び、新たな自己の発見と創造に時間を費やすこともできるはずです。いまいくらかの不安を抱えていても、勇気をもって自分の殻(世界観)から半歩先に飛び出してみてください。



理工学部長
石井 靖
Yasushi ISHII

最高の贈り物

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年も後楽園の地に約千名の新入生を迎えることとなります。皆さんの入学を、心より歓迎いたします。

大学生活を始めるにあたり、皆さんはそれぞれに抱負とか意気込みをお持ちのことと思います。特に理工学部に入學する皆さんは、専門知識を身につけて、将来は科学・技術の現場ではたらくことを夢見ている人がほとんどだろうと思います。今の高揚感を是非、持ち続けてください。

大学の4年という時間は、大学での勉強だけでは有り余るほどの時間かもしれません。この間にサークルで同好の友人に出会うこともあるでしょう。友人と人生について語り合う機会もあると思います。二十歳になれば、居酒屋で語り合っても構いません。また、じっくりと専門以外の書物、例えば文学作品にふれること、長い休みには、知らない土地を訪れて、見聞を広めることも出来るはずです。3ヶ月とか半年の間、海外の大学で勉強する機会もあるかもしれません。大学の4年間は、何かに煩わされることなく、やりたいことを思う存分にやれる人生で最後の時間ではないかと思います。この貴重な時間は、皆さんのご両親や周囲の方々からの「最高の贈り物」です。折角の贈り物を、「1時間いくら」で切り売りをして、小遣い稼ぎをしないでください。アルバイトも必要かもしれませんが、社会勉強と称して薦められるものではありません。「最高の贈り物」は、将来回収できる自己投資に使ってください。

与えられた時間を大切にして、皆さんの学生生活が実り多きものとなることを願っています。入学、おめでとう。